

徳川家康は『厭離穢土・欣求浄土』を旗印にし、
富国繁栄策に、天海僧正が『仁王経』の「七難即滅・
七福即生」の言葉より、インド・中国・日本の、仏・道・
儒・神の中から7名を選んで『七福神』としたのが始
まりです。

七難(日月・星辰・火・水・風・炎旱^{エンカン}(ひでり)・兵賊)の除滅
にと。江戸中頃より一般庶民に広まり、「七福神廻り」
など、今日なお根強い信仰があります。

- ①恵比寿^{エビス} 〔日本〕
蛸子…鯛を小脇に抱え釣竿を持つ。漁業・海上・商売の神。
- ②大黒天^{ダイコクテン} 〔インド〕
カーリー神…打出の小槌と大きな袋を持ち頭巾被る。農業・富の神。
- ③毘沙門天^{ヒシャモンテン} 〔インド〕
多聞天…北方の守り。四天王の一人。財宝・富・福利の守護神。
- ④弁財天^{ベンサイテン} 〔インド〕
サラスバティ…河の女神。音楽・智恵・財物の神。吉祥天とは別。
- ⑤布袋^{ホテイ} 〔中国〕…唐末の禅僧。肥えた腹を出し袋を背負う。運命・天候を予知。
- ⑥福祿寿^{フクロクジュ} 〔中国〕…短身長頭で髪があり、多くの鶴を従える。子孫繁栄の神。
- ⑦寿老人^{ジュロウジン} 〔中国〕…宋代の人。長い頭、白髪の老人。長寿の神。